

三陸縦貫自動車道「矢本IC分合流部」 の4車線開通後の交通状況について（速報）

平成23年7月31日、暫定的に開通した「矢本IC分合流部」(延長2.6km)の4車線開通後の交通状況について、下記のとおりお知らせします。

■三陸道の渋滞区間が約4km解消

- ・矢本IC分合流部が4車線で通行できるようになり三陸道（鳴瀬奥松島IC～矢本IC間）で発生していた下り（石巻方面）朝ピーク時（7時）の渋滞が約4km解消しています。

■4車線通行可能により所要時間が10分短縮

- ・4車線でのスムーズな通行が可能となり、鳴瀬奥松島IC～矢本IC間の渋滞が緩和され、下り（石巻方面）朝ピーク時（7時台）の所要時間が30分→20分に10分短縮しました。

■三陸道の走行時間の信頼性が向上

- ・鳴瀬奥松島IC～石巻河南IC間では、時間帯別でばらついていた通過時間の差が少なくなり、走行時間の信頼性が向上しています。

※詳細は別添資料をご覧ください。

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、大崎記者クラブ、石巻記者クラブ、気仙沼記者クラブ

（お問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
TEL 022-248-4131

副 所 長 さとう としあき 佐藤 寿昭（内線205）

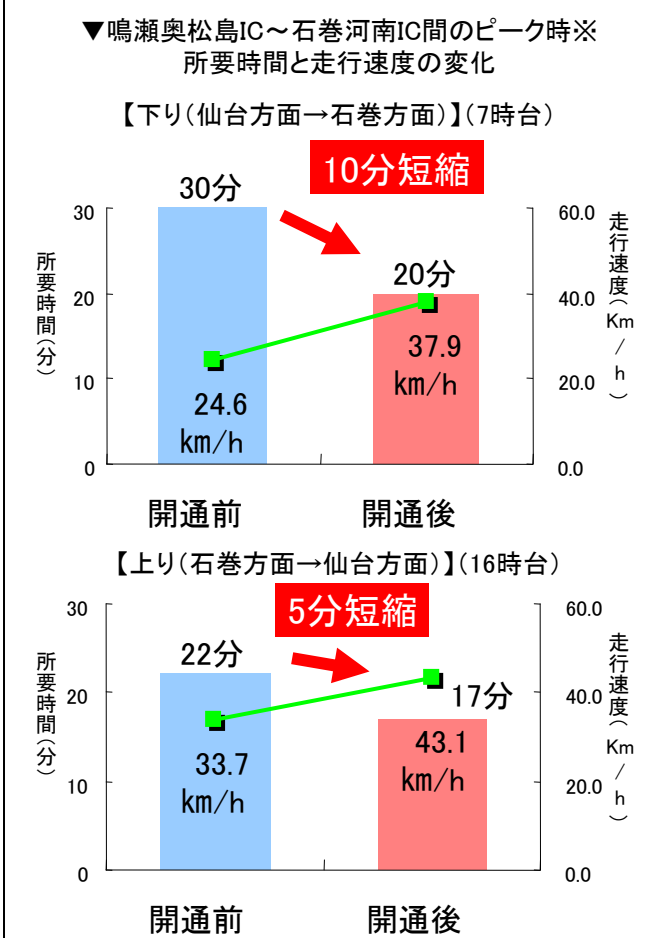
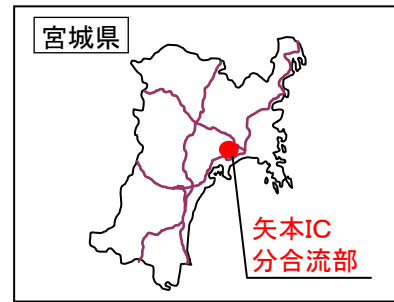
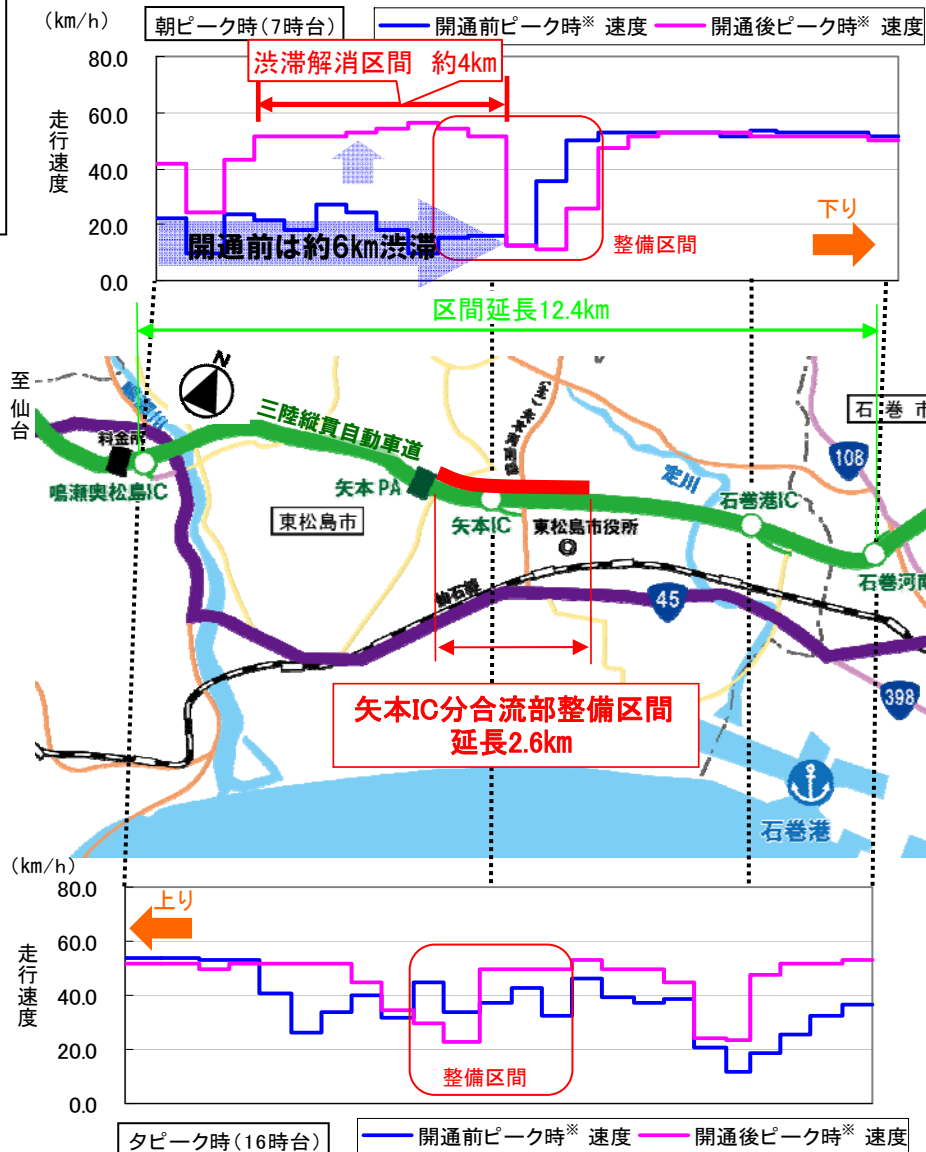
調査第二課長 ばば ひろゆき 馬場 裕之（内線451）

【開通後】三陸縦貫自動車道 矢本IC分合流部(4車線化)が開通して

(平成23年7月31日開通)

- ①石巻方面の渋滞が約4km解消
- ②所要時間が10分短縮

・矢本IC付近を起点に発生していた下り朝ピーク時※(7時台)の渋滞が約4km解消
 ・渋滞緩和により、走行速度が向上し、下り朝ピーク時※(7時台)の所要時間が10分短縮
 ※ピーク時は上り・下りで最も混雑している時間帯



▼交通量の変化

	開通前 (H23.7.28 (火))	開通後 (H23.8.3 (火))
鳴瀬奥松島IC～矢本IC	32,900	34,900
矢本IC～石巻港IC	32,200	33,900

単位: 台/日

出典: 国土交通省調査
 開通前: H23.7.26(火)、7.28(木)
 開通後: H23.8.2(火)

- 高速道路の渋滞は40km/h以下としている
- グラフ上の速度は500m毎に集計した平均走行速度を示している

▲三陸道(鳴瀬奥松島IC～石巻河南IC)のピーク時※走行速度の変化

【開通後】三陸縦貫自動車道 矢本IC分合流部(4車線化)が開通して

(平成23年7月31日開通)

③三陸道(鳴瀬奥松島IC～石巻河南IC)
の走行時間の信頼性が向上

鳴瀬奥松島IC～石巻河南IC間では、時間帯別でばらついていた通過時間の差が少なくなり、走行時間の信頼性が向上

▼鳴瀬奥松島IC～石巻河南IC間の所要時間の分布状況※



■矢本IC付近の交通状況の変化
(仙台方面より石巻方面を望む)

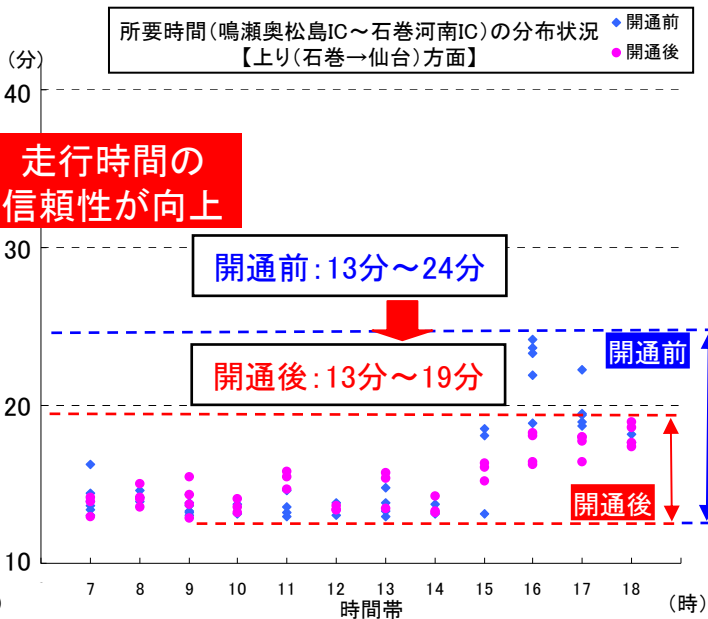
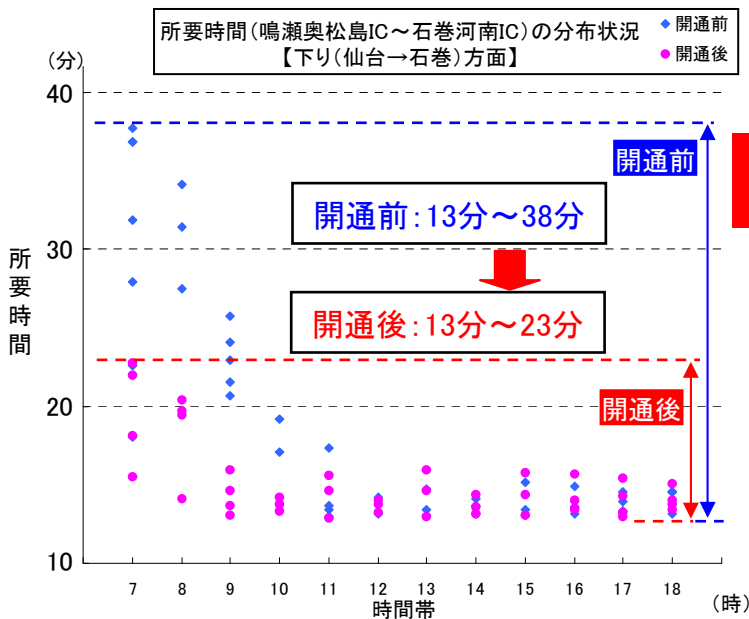
【開通前】



【開通後】



分合流部の整備により
交通の流れがスムーズに！



走行時間の
信頼性が向上

※昼間12時間(7:00～19:00)走行
開通前(上下)90サンプル(7/26(火), 7/28(木))の合計
開通後(上下)83サンプル(8/2(火))
出典:国土交通省調査